

北九州市版架け橋期のカリキュラムについて

1 目的

架け橋プログラムの取組みを通して人のつながりの「連携」から教育課程のつながりの「接続」へと充実を図る。

2 現状

- 平成30年から「北九州市版幼児教育と小学校教育の接続カリキュラム」を参考に市内の小学校と就学前施設が交流を実施
 - ※「接続カリキュラム」…対象：年長の10月頃から1年生の7月まで
- 新型コロナウイルス等の影響で交流が減少

3 策定までの流れ

- 令和7年 北九州市架け橋プログラム検討会議設置
年3回(5・8・12月)開催
 - ・モデル校区の選定
 - ・北九州市版架け橋期のカリキュラムの検討・策定
- ※「架け橋期のカリキュラム」…対象：年長から1年生の2年間

4 今後のスケジュール

- 令和8年4月 北九州市版架け橋期のカリキュラムを市内の小学校、就学前施設に配布
- 令和8年～9年 小学校区版架け橋期のカリキュラムを作成
カリキュラムをもとに校区内の施設で交流等の実施

幼児教育と小学校教育の接続カリキュラム

期	接続前期			接続中期-1			接続中期-2		接続後期	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~ GW		GW ~ 7月	
発達の過程	<p>みんなで つくったよ</p> <p>友達との関わりの中で、共通の目的に向かって考えを出し合って遊ぶ時期</p>			<p>うれしいな もうすぐ 1年生</p> <p>友達とともに過ごしてきた喜びや成長を感じ、主体的に園・所生活を進める時期</p>			<p>なかよし いっぱい</p> <p>教師や友達などに関わる中で進級した喜びを感じ、意欲的に学校生活を送ろうとする時期</p>		<p>学校 だいすき</p> <p>学校生活に慣れ、安心し自信をもって自己発揮しながら友達と楽しく過ごそうとする時期</p>	
発達の過程	<p>・仲間意識が深まり、友達の思いが受け止められるようになる姿が見られる。</p> <p>・運動会や生活発表会など、共通の目的に向かって活動する中で、友達と考えを出し合ったり協力したりしながらやり遂げる楽しさを感じる姿が見られる。</p> <p>・文字や数字、標識や記号に興味や関心をもち、必要感から使おうとする姿が見られる。</p>			<p>・学級意識や仲間意識が高まり、学級の友達と見通しをもって活動する姿が見られる。</p> <p>・生活の中で起こった問題を自分たちで解決しようとしたり、友達と互いのよさを認め合ったりしながら、関わりが深まっていく姿が見られる。</p> <p>・修了が近付いてきたことを自覚し、入学に期待が高まる反面、不安をもつ姿も見られる。</p>			<p>・小学生になった喜びと期待をもって意欲的に過ごす姿や不安をもつ姿も見られる。</p> <p>・「文字を書きたい。計算をしてみたい。」など、学習に取り組みたいという意欲が見られる。</p> <p>・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が行きつ戻りつしながら徐々に小学校生活に慣れていく姿が見られる。</p>		<p>・運動会の体験を機に、小学校生活に慣れ、「自己発揮しながら生活したり、学習に取り組んだりする姿が見られる。</p> <p>・自覚的な学びができるようになり、めあて意識をもって学習に取り組む姿が見られる。</p> <p>・互いの思いや考えを伝え合ったり、協力し合ったりしながら学習する姿が見られる。</p>	
姿(指導計画)に表れる特徴的な	<p>【知識及び技能の基礎】 自分の体や健康に関心をもち、全身を使って伸び伸びと活動したり、清潔にしたりしようとする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等の基礎】 本物らしさを求めて材料を選んだり、友達と工夫して表現したりして遊ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 仲間意識をもち競い合ったり、十分に自己発揮し達成感を味わったりしながら遊んだり生活したりしようとする。</p>			<p>【知識及び技能の基礎】 できるようになったことや自分の成長が分かり、就学に向け、学級の友達と一緒に見通しをもって活動するようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等の基礎】 学級で考えを出し合ったり、力を合わせて問題を解決したりしながら、遊びを進める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 就学への憧れや期待感もち、学級の友達と共通の目的に向かって意欲的に生活しようとする。</p>			<p>【知識及び技能の基礎】 小学校の約束や集団生活マナー、交通規則などを理解し、安全に生活するようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等の基礎】 思いを表現したり、新しい知識を得たり、発見の楽しさを感じたりしながら学習する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 教師や友達や上級生などに関わる楽しさを感じ安心感もち学習等に取り組もうとする。</p> <p>・幼児期の経験を基にしながら、自分のできることや新たなことに取り組もうとする。</p>		<p>【知識及び技能の基礎】 小学校生活に慣れ、必要な生活・学習習慣や技能を身に付け、学習等をするようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等の基礎】 小学校生活を支えている人々や施設など自分との関わりが分かる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 1年生になってできるようになったことが増えたという喜びを味わい、自信をもって学習等に取り組もうとする。</p>	
育みたい資質・能力	<p>共通の目的をもち、友達と一緒に実現する体験</p>			<p>学級の中でつながりを深め、充実感を味わう体験</p>			<p>幼児期に経験した活動をしたり、幼児期の学びを発揮したりし、安心感をもつ体験</p>		<p>活動や体験を取り入れた学習を通して、めあてに向かって意欲的に学習に取り組む体験</p>	
体験しきざ	<p>共通の目的をもち、友達と一緒に実現する体験</p>			<p>学級の中でつながりを深め、充実感を味わう体験</p>			<p>幼児期に経験した活動をしたり、幼児期の学びを発揮したりし、安心感をもつ体験</p>		<p>活動や体験を取り入れた学習を通して、めあてに向かって意欲的に学習に取り組む体験</p>	
内容(健康・人間関係・言葉・表現)	<p>・生活のリズムや食事などの大切さを知り、自分の体や健康に関心をもち、【健康】</p> <p>・運動的な遊びの中で、自分のめあてをもち、根気強く取り組む。【健康】</p> <p>・友達と考えを出し合って遊ぶ中で、気持ちを調整しながら遊ぶ。【人間関係】【言葉】</p> <p>・友達と共通の目的に向かって、遊び方を考えたり、役割分担をしたりしながら協力して遊ぶ。【人間関係】【言葉】</p> <p>・経験したことやイメージしたことを工夫して表現する。【言葉】【表現】</p> <p>・自分たちで育てた栽培物を収穫し、調理して食べることの喜びを味わう。【環境】【健康】</p> <p>・園内外の自然や動植物に関わりながら、季節の変化や美しさに気付く。【環境】【表現】</p>			<p>・遊びや生活に見通しをもって友達と一緒に取り組んだり、考えを出し合ったりする。【人間関係】【言葉】</p> <p>・自分のめあてに向かって諦めずに根気よく取り組む。【健康】</p> <p>・交流を通して、小学校に関心をもちたり、入学に期待をもったりする。【人間関係】【環境】</p> <p>・文字や数量などに興味や関心をもち、遊びや生活の中で使う喜びを味わう。【言葉】【表現】</p> <p>・寒さに負けず、友達と誘い合って戸外で体を動かして遊ぶ。【健康】【人間関係】</p> <p>・修了に関わる活動を通して、自分の成長を感じたり、身近な人々への感謝の気持ちをもったりする。【健康】【人間関係】</p> <p>・冬から初春への自然現象や動植物の変化に気付く、関わりをもとうとする。【環境】</p>			<p>「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が行きつ戻りつしながら徐々に小学校生活や学習へとつながっていく</p>		<p>国語</p> <p>算数</p> <p>音楽</p> <p>生活</p> <p>図工</p> <p>体育</p> <p>道徳</p> <p>特別活動</p>	
モデル小学校区事例	<p>①おばけやしきに いらっしゃい</p> <p>②ドッジボールをしよう</p> <p>③御仏様をかいてみよう</p> <p>④どんなお弁当をつくらうかな</p> <p>⑤めっきらもっきら どおんどん</p> <p>⑥大すき ぼくらのさくらの木</p> <p>⑦こんどは、まけないぞ!</p> <p>⑧こんどは、どの役をしようかな</p>			<p>⑨ともだち、喜んでくれるかな</p> <p>⑩お店のしなものをつくったよ</p> <p>⑪たこ、たこ、あがれ!</p> <p>⑫ぼく、わたしの とくいわざ</p> <p>⑬おにのおめんをつくったよ</p> <p>⑭心のおいて、どんないる</p> <p>⑮ゆきだるま 夏にはとける</p> <p>⑯どんなお店にしようかな</p> <p>⑰みんなで卒園制作をつくらう</p> <p>⑱もうすぐ 1年生</p>			<p>⑩がっこうの せいかつ</p> <p>⑫はじめに</p> <p>⑬がっこう たんけん</p>		<p>⑳なんばんめ</p> <p>㉑せわを しよう</p> <p>㉒なつを たのしもう</p>	
主な関わり等	<p>チーム意識をもち競い合う楽しさを味わったり、一人一人が自分の力を発揮し満足感や達成感を味わったり、自信をもったりするようにする</p>			<p>できるようになったことや成長を認め、自信や意欲を高め、就学への期待感をもてるようにする</p>			<p>安心感の中で自己発揮できるように、個々の育ちに応じた関わりをしたり、幼児期に体験した活動を取り入れたりする</p>		<p>学習や生活の様々な場面で幼児期に育った力を発揮する中で、自分のよさに気付き、更に伸ばすことができるような学習活動をする</p>	